



一層パワフルになった束線ドラッグ機能

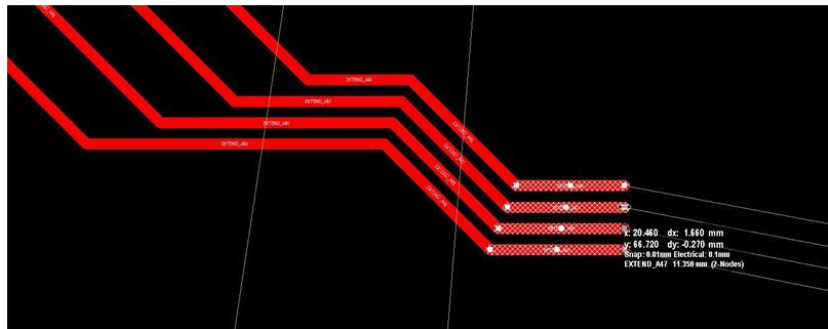
Summary

束線ドラッグ機能とその機能がもたらす PCB レイアウト設計の生産性向上についてご確認ください。

September 2006

Author: Phil Loughhead

Altium Designer 6 では、束線のプレース、トラックのドラッグを束線で行う等の重要な機能拡張を行い、一層パワフルな PCB アートワーク機能を持つようになりました。これらの機能を使用すれば、一操作でトラック全般にわたりプレースもしくは修正が可能になり、複雑な基板設計における生産性向上をもたらします。



Place メニューから **Multiple Trace**

プレースを起動することができます。このコマンドを選択する前に、配線されるパッドセットを指定してください。

(S ボタンで指定、その後 **Touching Line** あるいは **Touching Rectangle** を

選んでください) **Multiple Trace** コマンドを走らせ、次に **Reference Pad** を拾ってください。これら一連のコマンドにはトラックの自動結合機能も含まれています。Tab Key を押せば結合を分離することができます。以後、**Multiple Trace** の配置は単純にクリックするだけで実行できますので、単一ネットを配線するような感覚で設計を進めることができます。異なるパッドスペースを持つ2つの部品間を配線する場合、トラックを分離し、両側から配線を始め、中間地点で結合するやり方が可能です。

配線エリアを確保したり別の部品を配置するために、すでに配置されたトラックを移動させる必要性もあることでしょう。**Smart Dragging** はトラックセグメントを移動する機能で、接続されるセグメントに対し、接続する角度を正しく維持したまま実行することが可能です。更に **Smart Drag** ではセットのトラックセグメントでも実行可能で、単一のセグメントを扱っているかのように作業することができます。また未接続のトラックを拡張し、終点までドラッグして新しいセグメントを追加することでトラックを接続することができます。セグメントを選択し、クリックするだけで **Smart Drag** が可能です。

以上のようなマルチトラックプレースやドラッグの機能は、Altium Designer が今後装備していくバスルータ技術の最初のステップとしてリリースされたものです。今後もバスルータ機能の充実を続けて行きます。